

YOKOSO

NO. 90
JULY 2022
無料

ようこそ

TRAVEL & LIFE GUIDEBOOK



Expat Orbitは、インドに駐在する日本人向けに特化したオンラインワークショップ“FunWith Hindi”を提供しています。インド工科大学カンパール校で長年日本語を教えている教員が、当ワークショップを企画構成し、指導致します。下記のQRコードをスキャンすると、日本人の過去の受講者の声をお知りになれます。



ワークショップにご登録をされる際は、クーポンコードINDONIHONをご利用いただくことで、受講料が15%割引となります。

詳細については、6ページを参照してください

メールでのお問い合わせはこちらをスキャン →



インド各地のお菓子を知らう!

FORMULA GROUP
Mobility Managed.®



一年中咲く花はない。
けれども私たちはいつもあなたに寄り添います。

www.formulaindia.co.jp



マナブ・アガルワル



山田幸彦

フォレンジック監査在印日系企業に・不正調査

今日、世界では、ホワイト・カラーによる犯罪が増加し、ビジネスを事故災難から救うために、フォレンジック監査や不正調査の技術を導入する必要性が生じています。インドでビジネスを展開する日系企業様におかれましては、特に従業員による不正や不祥事が増加している点に注意する必要があります。在印日系企業は、この様な不正や不祥事を回避し、この種の問題に取り組むための予防的なインフラを整える事が急務となっております。

従業員による不正行為

従業員は組織にとって最大の資産の一つですが、従業員の負の行動による経済的損失や風評被害は、更に大きな脅威です。組織は、従業員の共謀、

不正、業務上の不正を特定し、従業員に対する適切な調査ケースを構築し、顧客と金融資産を効果的に保護する事に苦心しています。近年、企業はより多くの内部不正や業務上不正のリスクに対処しております。また、規制当局も商品やサービスの提供に伴うリスク管理に関するガイダンスを更新しています。更に、極めて高い透明性が求められる現在、内部不正による風評被害は、他の全てのリスクよりも何倍も危険視されています。

又、従業員個人が ID 窃盗に関連する犯罪を犯す可能性もあります。コンピュータ・犯罪調査官は、ハードディスク、電子メール・アカウント、ソーシャル・ネットワーキング・サイト、及び、その他のデジタル・アーカイブを高度な方法で調査し、犯罪の有効な証拠となり得る情報を取り出し評価します。



フォレンジック監査

2013年会社法に「不正」の定義が導入され、インドではフォレンジック監査の概念が重要視されるようになりました。フォレンジック監査とは、法的手続きに使用する証拠を収集するため、企業の財務記録を検査する事です。不正や関係者を特定しながら、企業のペールを脱ぐのです。不正行為が行われたかどうかを合法的に判断するための監査技術を適用しなければなりません。調査プロセスのステップには、計画、レビュー、レポートが含まれます。計画段階では、行われた不正の特定、いつから不正が行われているのか、誰が関与しているのか、財務的損失はどの位なのか、不正防止策などの目的が設定がなされます。フォレンジック監査は、財務監査や内部監査とは全く異なるものです。フォレンジック監査の目的も手続きも大きく異なります。

フォレンジック監査人としてのサポート体制

フォレンジック監査人・不正調査員として、会計・法律・金融の知識と調査技術を組み合わせ、汚職や金融犯罪の証拠を発見し、日本企業の不正調査をお手伝い致します。財務諸表を見るだけでなく、調査・検討、証拠を引き出し、報告書を作成し、証拠の法的範囲の把握、法廷での証明方法など、多岐に渡る業務を行います。証拠集めから始まり、個々の証拠断片の検証、不正犯人探し、法廷での証言提出迄、フォレンジック・アナリストはその責任の一端を担っております。

弊社の取り組み

弊社は、不正や汚職の調査に関して、日本のクライアントを支援した経験がございます。弊社は、通常、以下の様なアプローチで監査を行っております。

- ・ 業務範囲に基づく適切な監査プログラムの立案
- ・ クライアント様と従業員の重要責任分野に対する深い理解
- ・ 正しい情報源に基づくデータ収集と、データ、及び、書類の妥当性確認
- ・ デジタル機器の特定・分析、及び、関係者へのインタビュー
- ・ 会計帳簿の詳細な見直し・特定、それらによる監査中に特定された疑わしい取引の調査
- ・ 不正取引、及び、潜在的な不正の特定
- ・ 不正の量的な評価
- ・ フォレンジック・レポートの起草と最終化

フォレンジック監査、及び、不正調査に関連する当社の業務範囲は、通常、以下のフェーズに分けられます。

- ・ フェーズ I - 会計帳簿と基礎データの詳細フォレンジック、及び、
- ・ フェーズ II - ラップトップ、ハードディスク、その他のデジタル機器のデジタル・フォレンジック

クレイマンに関しまして

クレイマン・コンサルタンツLLP(以下、クレイマン)は、インド全土の日系顧客様にサービスを提供する会計・アドバイザー会社です。当社は、インド進出、会計・監査、税務、規制、法務サービスを専門としています。当社は、公認会計士、会社秘書(カンパニー・セクレタリー)、弁護士、MBAからなる専門家チームです。詳細については、当社ウェブサイト(www.krayman.com/jp)をご覧ください。サポートが必要な場合は、communications@krayman.com迄ご連絡下さい。